

第70回国民体育大会

東日本大震災復興支援

2015 紀の国 わがやま 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

報告会資料(テニス競技)

「常勝チーム沖縄」を目指して

2015年11月17日

少年女子監督 平良 和己

今大会実績

少年女子 優勝

リュウ理沙マリー



下地奈奈



目標

▶ 2015年に優勝

強化年度	目標	実績	評価
1年目(2013)	ベスト8	初戦敗退	△
2年目(2014)	ベスト4	準優勝	◎
3年目(2015)	優勝		

優勝！

2014年度の成績

	対戦相手	スコア	No.1	No.2	ダブルス
1回戦	大阪	2-1	4-8	8-3	9-8
2回戦	高知	2-0	8-5	8-1	
3回戦	福井	2-1	8-5	5-8	8-5
準々決勝	兵庫	2-1	8-2	3-8	9-8
準決勝	島根	2-1	7-9	8-5	8-6
決勝	東京	0-2	8-9	5-8	

▶ ダブルスを4試合、ぎりぎりのところを勝ち抜いた。

今大会の成績

	対戦相手	スコア	No.1	No.2	ダブルス
2回戦	長野	2-0	8-1	8-5	
3回戦	大分	2-0	8-2	8-6	
準々決勝	神奈川	2-0	8-2	8-6	
準決勝	山口	2-0	8-3	9-7	
決勝	千葉	2-1	8-2	2-8	8-6

今大会は決勝まで、2-0のストレート勝ち。

国体までの取り組み

- 年間を通じたスケジュール管理
- 県内外で行う強化練習（S級エリートコーチによる指導）
- 国内強豪大学・高校への練習参加
- 国内外トーナメントへの出場（ITFのジュニアやシニア大会）
- 専門的トレーニングによる体づくり

年間を通じたスケジュール管理

1月	2月	3月	4月	5月	6月
鍛錬期	鍛錬期	強化期	強化期	強化期	プレトーナメント
7月	8月	9月	10月	11月	12月
試合期	試合期	リカバリー期	試合期	調整期/試合期	リカバリー/鍛錬期

・スケジュール管理

年間を通してオフシーズンがないテニス競技では、重要な大会を明確に判断し、重要な大会にピークパフォーマンスを持ってこれるようにスケジュール管理する。

・トレーニング管理

指導者が組んだスケジュールをもとにトレーニングを組んでいく。

企画提案型競技力向上対策事業による強化

ジュニア大会

- ▶ 2015年3月
 - ▶ マレーシア、ブルネイ
- ▶ 2015年 8月
 - ▶ 兵庫ITF

シニア大会

- ▶ 2015年 5月
 - 福岡国際、久留米国際
- ▶ 2015年 9月
 - 能登国際、京都国際

強化合宿

(県外)

早稲田大学
山梨学院大学
亜細亜大学

(県内)

S級エリートコーチによる指導(3回 / 年間)

国際大会の仕組み

- 国際テニス連盟が主催する大会で勝利することでポイントが与えられ、獲得ポイント数で世界ランキングが決められている。
- 合計獲得ポイント数によって、世界4大会への出場が決定。



世界4大会

マスターズ

ITFサーキット

大会での自信付け

- ▶ 国体前(3月、8月)に行われた全国選抜大会、インターハイの結果も選手が自身を持てた大会になった。

全国選抜 団体 **準優勝**

全国選抜 個人 **シングル 3位**

インターハイ団体 **ベスト8**

インターハイ個人 **シングル準優勝
ダブルス優勝**

去年以上の
成績！！

練習
トレーニング

自信

大会での結果
成功体験



今後の展望

- ▶ 強化のための下地作りが出来た。
- ▶ 企画提案型競技力向上対策事業で確立したシステムをさらに充実させて
 - ✓ 底辺拡大
 - ✓ 幼少期からの強化
 - ✓ 各年代コーチとの密なる連携
 - ✓ 他の種別も含めた全体的強化策

継続的にポイント獲得を目指す！

ご清聴ありがとうございました！

